

別添1

厚生労働行政推進調査事業費補助金
地域医療基盤開発推進研究事業

医療の質評価の全国展開を目指した調査研究

令和元年度 総括研究報告書

研究代表者 福井 次矢

令和2（2020）年3月

目 次

I. 総括研究報告

医療の質評価の全国展開を目指した調査研究	1
福井 次矢	

HCAHPSの日本語版開発	2
---------------------	---

添付資料	7
------------	---

患者アウトカム尺度であるEQ-5Dを用いたQOL値データの収集と分析	41
--	----

「共通QIセット」業務を担当する人材に関するアンケート調査	43
-------------------------------------	----

添付資料	45
------------	----

II. 研究成果の刊行に関する一覧表	49
--------------------------	----

厚生労働行政推進調査事業費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）

総括研究報告書

医療の質評価の全国展開を目指した調査研究

研究代表者 福井 次矢 聖路加国際大学 聖路加国際病院 院長

研究要旨：

医療の質を継続的に改善するためには、医療の質を知ることのできる指標（質指標 Quality Indicator：QI）を測定することが不可欠である。

厚生労働省では、平成22年（2010年）度開始の「医療の質の評価・公表等推進事業」を介して、毎年複数の病院団体によるQIの測定・公表を推進してきており、その事業をさらに全国展開する目的で、平成28年（2016年）度厚生労働行政推進調査事業費補助金による研究班によって「共通QIセット」が提唱され、平成29年（2017年）度以降の「医療の質の評価・公表等推進事業」では、「共通QIセット」の測定を求められているところである。

本研究の目的は、全国の病院でQI測定を行うための基盤構築の一環としての「共通QIセット」に含まれているQIの定義の見直しや海外で開発された指標の導入、そしてQI測定に伴う諸課題やQI測定を推進するための方略等について調査・研究を行うことである。

（1）「共通QIセット」に含まれる指標定義の見直しと海外で開発された指標の導入

・日本語版HCAHPS（Hospital Consumer Assessment of Healthcare Providers and System）を、AHRQ（Agency for Healthcare Research and Quality）が求める手順に則って作成した。そのうえで、日本語版HCAHPSの内容妥当性、表面妥当性の確認、日本語版HCAHPSの構成概念の妥当性を検証するためのデータ収集を完了した。正式な手順での日本語版HCAHPSの作成に想定以上に時間を要したため、収集したデータを用いた妥当性検証のための分析は次年度に行う予定である。2020年度は、日本語版HCAHPSの妥当性を評価したうえで、「共通QIセット」に組み込むことの妥当性や可能性について検討する。

・患者アウトカム尺度の一つであるEQ-5D-5L（日本語版）を用いて、聖路加国際病院外科系診療科に予定入院した患者を対象に、入院前、退院後の約1か月、約6か月でのデータ取得を開始した。約3か月の間に日本語版EQ-5D-5Lが発行された件数は799件であり、そのうち入院前と入院後約1か月時点でのデータが得られたのは145件であった。その145件について、入院前後の効用値を比較すると、退院後約1か月時点での効用値は入院前に比べて低くなる傾向が認められた。次年度は、退院後約6か月時点での効用値を測定し、退院後約1か月時点での傾向が継続するか否かを検討する。2020年度は、聖路加国際病院における日本語版EQ-5D-5Lを用いた効用値の測定を続け、その有用性を検証しつつ、「共通QIセット」に組み込むことの妥当性や可能性について検討する。

（2）「共通QIセット」測定に伴う課題抽出と測定推進

・日本病院会における「共通QIセット」に関するデータの解析では、「共通QIセット」の中には、継続するうえで見直しが必要な指標があること、QI業務を担当する人材に関する調査では、全国の病院でQIを測定するためには、各病院で医療情報を扱うスタッフの配置が必要であること等が示唆された。2020年度は、QIに関して、データ収集や分析のプロセスと工夫、必要な人材とスキル、実労働時間等、さまざまな課題を知るための調査票を作成し、アンケート調査を行う。

研究分担者

猪飼 宏

山口大学 医学部附属病院 准教授（～R1/7/31）
京都府立医科大学 大学院医学研究科 特任准教授（R1/8/1～）

今中雄一

京都大学 医学研究科医療経済学分野 教授

今村知明

奈良県立医科大学 公衆衛生学講座 教授

嶋田 元

聖路加国際大学 情報システムセンター センター長

高橋 理

聖路加国際大学 公衆衛生大学院 教授

伏見清秀

東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 教授

松田晋哉

産業医科大学 公衆衛生学教室 教授

大出幸子

聖路加国際大学 公衆衛生大学院 准教授

研究協力者

岩渕勝好

山形県立病院再生館 呼吸器内科 科長

國澤 進

京都大学大学院医学系研究科 社会健康医学系専攻医療経済学分野 准教授

堀川知香

聖路加国際大学 情報システムセンター 情報室

藤本賢治

産業医科大学 公衆衛生学教室 助教

山路野百合

聖路加国際大学

【HCAHPSの日本語版開発】

A. 研究目的

昨今、患者中心の医療政策への認識が高まり、医療のシステムや医療従事者の質を患者の経験や視点から評価する取組みが世界中で広まっている。

患者満足度を定量的に評価するHospital Consumer Assessment of Healthcare Providers and System (HCAHPS) は、2006年に米国でCenters for Medicare & Medicaid Services (CMS) の主導により開発され、現在では、18歳以上の成人用と17歳以下の子ども用の質問紙が公開されている。HCAHPSは、患者にとって重要な6つの複合的なドメイン、2つの個別の項目、2つの全体評価で成り立っており、1) 看護師とのコミュニケーション、2) 医師とのコミュニケーション、3) 医薬品に関するコミュニケーション、4) 病院スタッフの対応、5) 退院時の情報、6) 退院時の患者自身のケアの理解、7) 病院の清潔度、8) 病院の静寂さ、9) 病院の総合評価、10) 病院を推薦する意思について尋ねる。

米国では、各医療機関で収集されたHCAHPSの結果を一般公開し、メディケイドの価格調整にも幅広く利用されている。HCAHPSはスペイン語、ロシア語、中国語、ベトナム語、アラビア語、マレー語など様々な言語に翻訳され、妥当性の評価が行われた上で、世界各国で用いられているが、これまで日本語版は開発されていない。

我が国においては、患者満足度についてはそれぞれの施設で独自に調査を行っているものの統一されたものではなく、国際規格の調査票も一般的には用いられていないため、日本国内での施設間

の比較、海外との比較などは困難な状況である。

本研究の目的は、CMSの基準に則り、HCAHPSを日本語に翻訳し、その内的妥当性、表面妥当性、構成概念妥当性を調査し、日本語版HCAHPSの妥当性を評価することである。

本研究により期待される成果としては、HCAHPSは世界において様々な言語に翻訳されて利用されていることから、日本語版HCAHPSの開発により、国内における病院間の比較、国際比較が可能になる。また、妥当性が確認された質問紙を利用して患者満足度を調査することで、患者中心の医療政策を提言するための材料となることが期待できる。

B. 研究方法

HCAHPSの日本語への翻訳は、HCAHPSを開発した米国AHRQ (Agency for Healthcare Research and Quality) が、英語から他言語に翻訳する際に求めるガイドラインに則って、Forward TranslationおよびBackward Translationを行う。

日本語版HCAHPSの妥当性検討の研究デザインは横断研究。日本語版HCAHPSの内的妥当性、表面妥当性、構成概念妥当性を評価するために質問紙調査を実施する。日本語版HCAHPSの内容妥当性の確認のための専門家パネルは、厚生労働行政推進調査事業費補助金/地域医療基盤開発推進研究事業（福井班）「医療の質評価の全国展開を目指した調査研究」班員とする。

対象者は、HCAHPSのオリジナル版に沿って以下の選択基準、除外基準を設定し、内容妥当性、表明妥当性の確認には、当院に入院経験のある12名の患者を対象とする。構成概念妥当性の確認には

調査会社よりリクルートされた300名の患者を対象とする。すべての調査において、AHRQが公開するプロトコルに則り、選択基準は、1)20歳以上、2)少なくとも病院に一泊以上した(0時をまたぐ入院)患者、3)調査票配布時、退院後48時間から6週間以内(42日以内)の患者、除外基準は、1)退院時に精神医学的MS-DRGが主要診断の患者(注:主要な診断が内科、外科、または産科の疾患に該当し、複合的に精神医学的診断も受けている患者は、除外としない。)、2)20歳未満(注:現在の大人用HCAHPS質問紙は、小児患者とその家族の固有の状況、または問題のある健康上の問題に対処するように設計されていないため、小児患者(入院時18歳未満)および一次精神医学または薬物乱用診断の患者は対象外とする)、3)患者情報の公開を認めていない患者、4)裁判所/法執行患者(囚人)、5)現住所が外国にある患者、6)ホスピスに退院した患者、7)特別養護老人ホームや介護施設に退院した患者、8)認知機能の低下が認められる患者とする。

目標とする対象者数は、【日本語版HCAHPSの内容妥当性の確認】7例(専門家パネル)+12例(当院の退院患者)、【日本語版HCAHPSの表面妥当性の確認】12例(内容妥当性の確認と同じ対象者)、【日本語版HCAHPSの構成概念妥当性の検証】フィールドテスト:300例(日本能率協会の調査パネルでリクルートされた対象者)とし、その算出根拠は、内容妥当性、表明妥当性の検証には、マレー語のHCAHPSの妥当性の検証で、約10名の専門家の中に4名の患者が含まれていた。厚生労働行政推進調査事業費補助金/地域医療基盤開発推進研究事業(福井班)「医療の質評価の全国展開を目指した調査研究」班員の中に患者は含まれていないため、本研究では、聖路加国際病院の退院患者への質問紙調査を行う。郵送での調査であり、回答率が20%程度であることが見込まれるため、12名に配布する。回答フィールド調査に関しては、Hair(2009年)によると、対象者数と質問項目の比率が10:1であることが示されているため、質問項目26問の質問紙の構成概念妥当性を明確にするために必要な最少対象者数は、260名と想定される。10%から返信がないと想定し、300人と設定した。対象者のリクルート方法は、内容妥当性、表明妥当性の検証は、当院の退院患者については、当法人の研究倫理審査委員会承認後の1日を設定し、患者の退院時に本病院外来受付より、説明同意文書、調査用紙を配布し、質問紙の回答を依頼する。構成概念妥当性の検証は、日本能率協会の調査パネ

ルに対象者の選択基準、除外基準に合った対象者に調査用紙の配布、回収を依頼する。

— 研究の実施手順 —

【日本語版HCAHPSの作成】

AHROが求めるガイドラインに則り、以下のよう
な手順で日本語に翻訳した。

- 1) 厚生労働行政推進調査事業費補助金/地域医療基盤開発推進研究事業(福井班)「医療の質評価の全国展開を目指した調査研究」班員がHCAHPSの英語の調査票の原文を翻訳した。
- 2) 医療にも精通しており、日本の省庁や独立行政法人とも多数の翻訳取引のある、翻訳会社に委託し、英語の原文を翻訳した。
- 3) 看護師資格を有し、病院での医療経験がある翻訳レビューアが、エクセルフォーマットで、原文、病院スタッフが翻訳した日本文、翻訳会社が翻訳した日本文を比較し、どちらの翻訳版を利用、または調整版を作成するかを示し、コメントと共に、表に提示した。(資料1)
- 4) 翻訳者、翻訳レビューアを含むHCAHPSの委員会にて、すべての調査項目、回答オプション、調査見出しの最終的な言葉遣いについて合意に達した。
- 5) 委員会での評価により、書式化された調査の最終版を作成した。

【日本語版HCAHPSの妥当性の確認】

HCAHPSの翻訳の手順、本調査に関するガイドラインは認められるが、妥当性の検証に関してはガイドライン等がなく、それぞれの研究で様々な手法がとられている。本研究は、HCAHPSをマレー語に翻訳した最新の研究を参考に妥当性の確認を行う。

【日本語版HCAHPSの内容妥当性の確認】

内容妥当性の確認には、専門家による特定のドメインに関連する各質問項目の関連性と代表性の評価を実施する。

- 1) 内容妥当性を確認するためのパネルのメンバーを厚生労働行政推進調査事業費補助金/地域医療基盤開発推進研究事業(福井班)「医療の質評価の全国展開を目指した調査研究」班員で構成する。
- 2) 班員にメールで質問紙調査依頼を行う(資料2)。
- 3) HCAHPS日本語版は、7人の専門家からなるパネルによる内容妥当性の確認を、Googleフォームで作成し、データを収集した。

- 4) 専門家は、それぞれの質問項目とドメインの関連性に関して、4件法（1：全く関連性がない、2：関連性がない、3：関連性がある、4：非常に高い関連性がある）で評価し、その結果を定められた統計解析法で分析する。

【日本語版HCAHPSの表面妥当性の確認】

パイロットテストとして、当院12名の対象者（本調査の対象者の基準と同様）に調査票の文章が明確で理解しやすいかどうかに関する表面妥当性を評価してもらう。

調査用紙は、本法人研究倫理審査委員会承認後、1日を設け、入院経験のある外来患者に対して、外来受付より、本研究の説明同意書、調査用紙、返信用封筒を渡し、調査用紙の回答依頼を行う。

（資料3）

- 1) 日本語版HCAHPSの質問項目に対する明確さと理解のしやすさに関して、4件法（明確さ、1：全く明確ではない、2：明確ではない、3：明確、4：非常に明確、理解度、1：全く理解できない、2：理解できない、3：理解できる、4：簡単に理解できる）で評価してもらう（資料4）。
- 2) 定められた統計解析で分析する。
- 3) パイロットテストからのフィードバックに対し、研究チームが、日本語版HCAHPSの修正と微調整する。
- 4) 内容妥当性の質問項目に関しても同様に評価する。

【日本語版HCAHPSの構成概念妥当性の検証】

フィールド調査を行い、退院患者に日本語版HCAHPSに答えてもらい、構成概念妥当性の確認を行う。

- 1) 対象期間（当法人 研究倫理審査委員会承認後～2021年3月31日）に選択基準、除外基準に該当する対象者をリクルートし、調査票の配布、回収までを日本能率協会の調査パネルに依頼する。
- 2) 調査票は、無記名にて実施する（資料5）。
- 3) 回収した質問紙のデータを定められた統計解析法で分析する。

【データ収集項目】

データ収集項目は以下のとおり。

下記の10項目のドメインに対応するそれぞれの質問に対して、内容妥当性は、質問とドメイン関連性に関する質問、表面妥当性は、質問の明確さと理解度に関する質問、構成概念妥当性は、測定し

ようとする概念や特性をどれだけ適切に反映しているかを確認する。

- 1) 看護師とのコミュニケーション
- 2) 医師とのコミュニケーション
- 3) 医薬品に関するコミュニケーション
- 4) 病院スタッフの対応
- 5) 退院時の情報
- 6) 退院時の患者自身のケアの理解
- 7) 病院の清潔度
- 8) 病院の静寂さ
- 9) 病院の総合評価
- 10) 病院を推薦する意思

データ入力と統計解析は、Microsoft ExcelとIBM SPSS Statistics、またはStataを使用し分析する。記述統計は、カテゴリ変数それぞれに対して、頻度と割合として提示し、正規分布の連続変数は、平均および標準偏差（SD）として提示する。

【日本語版HCAHPSの内容妥当性、表面妥当性の確認】

Content validity index（CVI）分析の場合、専門家パネルのスコアは、スコア1および2は、関連なし0、スコア3および4は、関連あり1として二値に再分類し、（1）Item-level CVIs（I-CVIs）：項目すべての評価者の評価の平均、および（2）Scale-level CVIs（s-CVI）：スケールレベルを評価する。Face validity index（FVI）分析の場合、パイロット研究の10サンプルのスコアは、スコア1および2を明確で理解できない=0、スコア3および4を明確で理解しやすい=1に再分類し、明確さと理解度の平均値を算出した。

【日本語版HCAHPSの構成概念の妥当性の検証】

構成概念妥当性の検証は、SPSS、またはStataを用いて探索的因子分析を行う調査は、患者満足度調査であり、心理的な構成要素がふくまれるため、潜在的な構成要素となる変数が存在することが考えられる。そのため、潜在的な構成要素が存在すると仮定したモデルを採用し、バリマックス回転で主軸因子分析（principal axis factoring（PAF））を行う。この研究で予想される基本的な変数は、元のHCAHPSの以下の10項目の要因に類似していると考えられるため、10項目のドメインに対してバリマックス回転の因子分析を行う。0.4以上の因子負荷量があることを確認して、質問項目を決定する。

C. 研究結果

AHRQの求める手順で、日本語版HCAHPSを作成した。

日本語版HCAHPSの内容妥当性、表面妥当性の確認、日本語版HCAHPSの構成概念の妥当性を検証するためのデータ収集を完了した。

正式な手順での日本語版HCAHPSの作成に想定以上に時間を要したため、収集したデータを用いた妥当性検証のための分析は次年度に行うこととなった。

D. 考察

分析結果の取得後、考察する。

E. 結論

分析結果の取得後、結論を述べる。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表 該当なし
2. 学会発表 該当なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得
該当なし
2. 実用新案登録
該当なし
3. その他
該当なし

#	英語原本 Original English	最終版 Final Survey Translation
Your Care from Nurses		
	During this hospital stay, how often did nurses treat you with courtesy and respect?	入院中、看護師はあなたに敬意を払い、礼儀正しく接しましたか？
1	1 <input type="checkbox"/> Never	1 <input type="checkbox"/> まったくない
	2 <input type="checkbox"/> Sometimes	2 <input type="checkbox"/> ときどき
	3 <input type="checkbox"/> Usually	3 <input type="checkbox"/> たいてい
	4 <input type="checkbox"/> Always	4 <input type="checkbox"/> いつも
<hr/>		
	During this hospital stay, how often did nurses listen carefully to you?	入院中、看護師はあなたの話に注意深く耳を傾けましたか？
2	1 <input type="checkbox"/> Never	1 <input type="checkbox"/> まったくない
	2 <input type="checkbox"/> Sometimes	2 <input type="checkbox"/> ときどき
	3 <input type="checkbox"/> Usually	3 <input type="checkbox"/> たいてい
	4 <input type="checkbox"/> Always	4 <input type="checkbox"/> いつも
<hr/>		
	During this hospital stay, how often did nurses explain things in a way you could understand?	入院中、看護師はあなたが理解できるように説明しましたか？
3	1 <input type="checkbox"/> Never	1 <input type="checkbox"/> まったくない
	2 <input type="checkbox"/> Sometimes	2 <input type="checkbox"/> ときどき
	3 <input type="checkbox"/> Usually	3 <input type="checkbox"/> たいてい
	4 <input type="checkbox"/> Always	4 <input type="checkbox"/> いつも
<hr/>		
	During this hospital stay, after you pressed the call button, how often did you get help as soon as you wanted it?	入院中、ナースコールのボタンを押したとき、速やかに対応してもらえましたか？
4	1 <input type="checkbox"/> Never	1 <input type="checkbox"/> まったくない
	2 <input type="checkbox"/> Sometimes	2 <input type="checkbox"/> ときどき
	3 <input type="checkbox"/> Usually	3 <input type="checkbox"/> たいてい
	4 <input type="checkbox"/> Always	4 <input type="checkbox"/> いつも
	9 <input type="checkbox"/> I never pressed the call button	9 <input type="checkbox"/> ナースコールのボタンを押したことはありません
<hr/>		
Your Care from Doctors		
	During this hospital stay, how often did doctors treat you with courtesy and respect?	入院中、医師はあなたに敬意を払い、礼儀正しく接しましたか？
5	1 <input type="checkbox"/> Never	1 <input type="checkbox"/> まったくない
	2 <input type="checkbox"/> Sometimes	2 <input type="checkbox"/> ときどき
	3 <input type="checkbox"/> Usually	3 <input type="checkbox"/> たいてい
	4 <input type="checkbox"/> Always	4 <input type="checkbox"/> いつも

During this hospital stay, how often did doctors listen carefully to you?	入院中、医師はあなたの話に注意深く耳を傾けましたか？
6 1 <input type="checkbox"/> Never	1 <input type="checkbox"/> まったくない
2 <input type="checkbox"/> Sometimes	2 <input type="checkbox"/> ときどき
3 <input type="checkbox"/> Usually	3 <input type="checkbox"/> たいてい
4 <input type="checkbox"/> Always	4 <input type="checkbox"/> いつも

During this hospital stay, how often did doctors explain things in a way you could understand?	入院中、医師はあなたが理解できるように説明しましたか？
7 1 <input type="checkbox"/> Never	1 <input type="checkbox"/> まったくない
2 <input type="checkbox"/> Sometimes	2 <input type="checkbox"/> ときどき
3 <input type="checkbox"/> Usually	3 <input type="checkbox"/> たいてい
4 <input type="checkbox"/> Always	4 <input type="checkbox"/> いつも

The Hospital Environment

During this hospital stay, how often were your room and bathroom kept clean?	入院中、病室とトイレは清潔でしたか？
8 1 <input type="checkbox"/> Never	1 <input type="checkbox"/> まったくない
2 <input type="checkbox"/> Sometimes	2 <input type="checkbox"/> ときどき
3 <input type="checkbox"/> Usually	3 <input type="checkbox"/> たいてい
4 <input type="checkbox"/> Always	4 <input type="checkbox"/> いつも

During this hospital stay, how often was the area around your room quiet at night?	入院中の夜間、病室の周辺は静かでしたか？
9 1 <input type="checkbox"/> Never	1 <input type="checkbox"/> まったくない
2 <input type="checkbox"/> Sometimes	2 <input type="checkbox"/> ときどき
3 <input type="checkbox"/> Usually	3 <input type="checkbox"/> たいてい
4 <input type="checkbox"/> Always	4 <input type="checkbox"/> いつも

Your Experiences in This Hospital

During this hospital stay, did you need help from nurses or other hospital staff in getting to the bathroom or in using a bedpan?	入院中、トイレに行ったり、便器を使用するために、看護師や病院スタッフの介助が必要でしたか？
10 1 <input type="checkbox"/> Yes	1 <input type="checkbox"/> はい
2 <input type="checkbox"/> No → If No, Go to Question 12	2 <input type="checkbox"/> いいえ → いいえの場合、質問12へ

How often did you get help in getting to the bathroom or in using a bedpan as soon as you wanted?	トイレに行ったり、便器を使用するとき、速やかに介助してもらえましたか？
11 1 <input type="checkbox"/> Never	1 <input type="checkbox"/> まったくない
2 <input type="checkbox"/> Sometimes	2 <input type="checkbox"/> ときどき
3 <input type="checkbox"/> Usually	3 <input type="checkbox"/> たいてい
4 <input type="checkbox"/> Always	4 <input type="checkbox"/> いつも

<p>During this hospital stay, were you given any medicine that you had not taken before?</p> <p>12 <input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No → If No, Go to Question 15</p>	<p>入院中、これまでに使ったことのない薬を使うことができましたか？</p> <p>1 はい 2 いいえ → 「いいえ」の場合は、15に進んでください</p>
<p>Before giving you any new medicine, how often did hospital staff tell you what the medicine was for?</p> <p>13 <input type="checkbox"/> Never <input type="checkbox"/> Sometimes <input type="checkbox"/> Usually <input type="checkbox"/> Always</p>	<p>新しい薬を使う前に、病院スタッフから何のための薬か説明がありましたか？</p> <p>1 <input type="checkbox"/> まったくない 2 <input type="checkbox"/> ときどき 3 <input type="checkbox"/> たいてい 4 <input type="checkbox"/> いつも</p>
<p>Before giving you any new medicine, how often did hospital staff describe possible side effects in a way you could understand?</p> <p>14 <input type="checkbox"/> Never <input type="checkbox"/> Sometimes <input type="checkbox"/> Usually <input type="checkbox"/> Always</p>	<p>新しい薬を使う前に、病院スタッフから薬の副作用について分かりやすい説明がありましたか？</p> <p>1 <input type="checkbox"/> まったくない 2 <input type="checkbox"/> ときどき 3 <input type="checkbox"/> たいてい 4 <input type="checkbox"/> いつも</p>
<p>When You Left The Hospital</p>	
<p>After you left the hospital, did you go directly to your own home, to someone else's home, or to another health facility?</p> <p>15 <input type="checkbox"/> Own home <input type="checkbox"/> Someone else's home <input type="checkbox"/> Another health facility → If Another, Go to Question 18</p>	<p>退院後の療養先は、自宅、自宅以外の家、それ以外の施設のどちらでしたか？</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 自宅 2 <input type="checkbox"/> 自宅以外の家 3 <input type="checkbox"/> 上記以外の施設 → この場合、質問18へ</p>
<p>During this hospital stay, did doctors, nurses or other hospital staff talk with you about whether you would have the help you needed when you left the hospital?</p> <p>16 <input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No</p>	<p>入院中、退院後に必要な援助について、医師、看護師、病院スタッフなどと、話し合う機会がありましたか？</p> <p>1 <input type="checkbox"/> はい 2 <input type="checkbox"/> いいえ</p>
<p>During this hospital stay, did you get information in writing about what symptoms or health problems to look out for after you left the hospital?</p> <p>17 <input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No</p>	<p>入院中、退院後に注意すべき症状や健康問題に関する情報を書面で受け取りましたか？</p> <p>1 <input type="checkbox"/> はい 2 <input type="checkbox"/> いいえ</p>

Overall Rating of the Hospital

- Using any number from 0 to 10, where 0 is the worst hospital possible and 10 is the best hospital possible, what number would you use to rate this hospital during your stay?
- 0～10の数字で、0を最悪の病院、10を最良の病院とすると、あなたが入院していた病院はどれに当たりますか？
- 0 0 考えられる範囲で最悪
- 1 1
- 2 2
- 3 3
- 4 4
- 5 5
- 6 6
- 7 7
- 8 8
- 9 9
- 10 10 考えられる範囲で最良
- 18
-

- Would you recommend this hospital to your friends and family?
- この病院を、家族や友人に勧めますか？
- 1 Definitely no
- 2 Probably no
- 3 Probably yes
- 4 Definitely yes
- 1 絶対に勧めない
- 2 たぶん勧めない
- 3 たぶん勧める
- 4 必ず勧める
- 19
-

Understanding Your Care When You Left The Hospital

- During this hospital stay, staff took my preferences and those of my family or caregiver into account in deciding what my health care needs would be when I left.
- 入院中、病院スタッフは、退院後に必要な医療を判断するにあたって、本人、家族、介護者らの意向を汲んでくれました。
- 1 Strongly disagree
- 2 Disagree
- 3 Agree
- 4 Strongly agree
- 1 まったくそうは思わない
- 2 そう思わない
- 3 そう思う
- 4 まったくそのとおりだと思う
- 20
-

- When I left the hospital, I had a good understanding of the things I was responsible for in managing my health.
- 退院時には、自分で責任をもって行う必要がある健康管理についてよく理解していました。
- 1 Strongly disagree
- 2 Disagree
- 3 Agree
- 4 Strongly agree
- 1 まったくそうは思わない
- 2 そう思わない
- 3 そう思う
- 4 まったくそのとおりだと思う
- 21
-

<p>When I left the hospital, I clearly understood the purpose for taking each of my medications.</p> <p>1 <input type="checkbox"/> Strongly disagree</p> <p>22 2 <input type="checkbox"/> Disagree</p> <p>3 <input type="checkbox"/> Agree</p> <p>4 <input type="checkbox"/> Strongly agree</p> <p>5 <input type="checkbox"/> I was not given any medication when I left the hospital</p>	<p>退院時には、それぞれの薬の使用目的をきちんと理解していました。</p> <p>1 <input type="checkbox"/> まったくそうは思わない</p> <p>2 <input type="checkbox"/> そう思わない</p> <p>3 <input type="checkbox"/> そう思う</p> <p>4 <input type="checkbox"/> まったくそのとおりだと思う</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 退院時に薬を出されなかった</p>
<p>About You</p>	
<p>During this hospital stay, were you admitted to this hospital through the Emergency Room?</p> <p>23 1 <input type="checkbox"/> Yes</p> <p>2 <input type="checkbox"/> No</p>	<p>今回の入院は、救急外来を經由しましたか。</p> <p>1 <input type="checkbox"/> はい</p> <p>2 <input type="checkbox"/> いいえ</p>
<p>In general, how would you rate your overall health?</p> <p>1 <input type="checkbox"/> Excellent</p> <p>24 2 <input type="checkbox"/> Very good</p> <p>3 <input type="checkbox"/> Good</p> <p>4 <input type="checkbox"/> Fair</p> <p>5 <input type="checkbox"/> Poor</p>	<p>普段の全般的な健康状態はいかがですか？</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 極めて良好</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 非常に良好</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 良好</p> <p>4 <input type="checkbox"/> まずまず</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 不良</p>
<p>In general, how would you rate your overall mental or emotional health?</p> <p>1 <input type="checkbox"/> Excellent</p> <p>25 2 <input type="checkbox"/> Very good</p> <p>3 <input type="checkbox"/> Good</p> <p>4 <input type="checkbox"/> Fair</p> <p>5 <input type="checkbox"/> Poor</p>	<p>普段の精神的・情緒的な健康状態はいかがですか？</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 極めて良好</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 非常に良好</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 良好</p> <p>4 <input type="checkbox"/> まずまず</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 不良</p>
<p>What is the highest grade or level of school that you have completed?</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 8th grade or less</p> <p>2 <input type="checkbox"/> Some high school, but did not graduate</p> <p>26 3 <input type="checkbox"/> High school graduate or GED</p> <p>4 <input type="checkbox"/> Some college or 2-year degree</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 4-year college graduate</p> <p>6 <input type="checkbox"/> More than 4-year college degree</p>	<p>あなたが修了された最高学歴をお答えください。</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 義務教育まで</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 高校卒業または高卒認定</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 短大 または2年制の学位</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 専門学校卒業</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 4年制大学卒業</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 4年制大学を超える学位</p>

Are you of Spanish, Hispanic or Latino origin or descent?

- 1 No, not Spanish/Hispanic/Latino
2 Yes, Puerto Rican
27 3 Yes, Mexican, Mexican American, Chicano
4 Yes, Cuban
5 Yes, other Spanish/Hispanic/Latino
-

What is your race? Please choose one or more.

- 1 White
2 Black or African American
28 3 Asian
4 Native Hawaiian or other Pacific Islander
5 American Indian or Alaska Native
-

What language do you mainly speak at home?

- 1 English
2 Spanish
3 Chinese
29 4 Russian
5 Vietnamese
6 Portuguese
7 German
9 Some other language (please print):
-

2019年〇〇月〇〇日

令和元年度 厚生労働行政推進調査事業費 地域医療基盤開発推進研究事業
「医療の質評価の全国展開を目指した調査研究」

アンケートのお願い

拝啓 平素より大変お世話になっております。

医療の質評価の全国展開を目指した調査研究班は、よりよい医療サービスを提供するために、患者の視点から医療サービスの質を客観的に評価する必要があると考えております。欧米では医療サービスの質を図る指標としてHospital Consumer Assessment of Healthcare Providers and Systems (HCAHPS)という、患者の視点から医療サービスの質を評価する指標が開発され、現在、世界各国で幅広く用いられています。

このたび、研究班では、HCAHPSの日本語版を作成致しました。つきましては、ご多忙中、大変恐縮ではございますが、本質問紙の内容妥当性を検証するために、アンケートのご協力をお願い申し上げる次第です。以下のURLよりお答えください。

<https://forms.gle/ux1FPA2p2hVqg5cU7>

このアンケートをもとに、HCAHPS日本語版の妥当性の検証を行います。今後、日本語版が利用できるようになることで、日本全国での調査、国際比較が可能になり、医療サービスの質を改善するサイクルの導入の一助となると考えています。なにとぞ、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、ご質問等ございましたら、下記担当部署までご連絡ください。

敬具

記

お問い合わせ担当部署

令和元年度 厚生労働行政推進調査事業費 地域医療基盤開発推進研究事業
「医療の質評価の全国展開を目指した調査研究」

研究責任者: 福井 次矢

住所: 〒104-0044 東京都中央区明石町9-1

電話: 03-6264-7295

聖路加国際大学公衆衛生大学院 高橋理

以上

令和元年度 厚生労働行政推進調査事業費 地域医療基盤開発推進研究事業

「医療の質評価の全国展開を目指した調査研究」

日本語版HCAHPSの妥当性の評価に関するアンケートのお願い

【研究の目的と概要】

医療の質評価の全国展開を目指した調査研究班は、よりよい医療サービスを提供するために、入院されたみなさんの視点から医療サービスの質を客観的に評価する必要があると考えております。欧米では医療サービスの質を図る指標としてHospital Consumer Assessment of Healthcare Providers and Systems (HCAHPS)という、患者の視点から医療サービスの質を評価する指標が開発され、現在、世界各国で幅広く用いられています。このたび、研究班では日本語版HCAHPSを作成し、妥当性を検証したいと考えております。今後、日本語版が利用できるようになることで、日本全国での調査、国際比較が可能になり、医療サービスの質を改善するサイクルの導入の一助となると考えています。

つきましては、ご多忙中、大変恐縮ではございますが、本質問紙の内容、分かりやすさなどに関する率直なご意見ご要望などをお聞かせいただきたく、アンケートのご協力をお願い申し上げます。

【方法】

1. 研究期間

聖路加国際大学倫理審査承認後～2021年3月31日

2. 研究にご協力いただく方の基準

選択基準

- 1) 20歳以上
- 2) 少なくとも病院に一泊以上した(0時をまたぐ入院)方
- 3) 調査票配布時、退院後48時間から6週間以内(42日以内)の方

除外基準

- 1) 退院時に精神医学的 MS-DRG が主要診断の方
- 2) 患者情報の公開を認めていない方
- 3) 現住所が外国にある方
- 4) ホスピスに退院された方
- 5) 特別養護老人ホームや介護施設に退院された方
- 6) 認知機能の低下が認められる方

3. アンケートの方法について

質問は、全部で27問あり、平均で7分ほどかかります。別紙アンケートにご記入のうえ、同封の封筒にて、ご返送していただければ幸いです。

【データの管理・公開】

無記名アンケートのため、個人情報が増れる可能性はございませんが、文書(申請書類の控え、アンケート回答用紙)やお答えいただいたアンケート内容のデータは法人のパソコンに保管し、外部に漏れないように注意して取扱います。これらのデータは研究終了後 5 年間保存したのち、一切のデータを復元不可能な状態に消去、またはシュレッダーなどで細かく裁断し破棄します。また、本研究の結果は、学会や論文等で報告させていただきます。

【自由意思に基づく協力と同意の撤回について】

本研究に協力されるかどうかは、本研究内容をご覧になったうえで、ご自身の判断でお決めください。同意されるかどうかで、現在及び将来の治療やケア、サービスは変わることはなく、この後、同意を撤回された場合でも、それによってご自身やご家族が不利益をこうむることはありませんので、ご安心下さい。研究へのご協力に同意したとしても、お気持ちが変わった場合には、その時点で同意を撤回することもできます。ただし、その時点ですでに出版物等に引用されている内容については、削除・回収はできませんのでご了承ください。協力の意思を撤回する場合には、本同意書の最後に記載された連絡先に宛てて、「同意撤回の申出書」をお送り下さい。

【研究に参加することによるご負担について】

大きなご負担はないと考えておりますが、アンケートにお答えいただくために平均して7分ほど時間がかかります。本研究による直接的な利益はございませんが、将来、みなさんの視点から医療サービスの質を客観的に評価するため、お忙しいところ恐縮ですがよろしく願いいたします。また、データの流出等ないよう、管理には十分に注意しながら進めていきます。

本研究は、厚生労働行政推進調査事業費補助金/地域医療基盤開発推進研究事業(福井班)「医療の質評価の全国展開を目指した調査研究」班によって行い、開示すべき利益相反はありません。聖路加国際大学の倫理審査の承認のもと、データの取り扱いには十分に注意して実施いたします。

研究計画書及び研究の方法に関する資料をご覧になりたい場合や、研究に関するご質問、ご相談がありましたら、以下の連絡先までお願い致します。

お問い合わせ担当部署

研究責任者: 聖路加国際病院 院長 福井 次矢

住所: 〒104-0044 東京都中央区明石町9-1

電話: 03-6264-7295

聖路加国際大学公衆衛生大学院 高橋理

整理番号：

聖路加国際病院

学長 福井 次矢 殿

同意書

私は、日本語版HCAHPSの妥当性の評価に関するアンケートについて、内容を理解した上で、私の意思に基づいてこの研究に参加・協力することに同意します。

同意日： 年 月 日

研究参加者氏名(ご署名): _____

診察券番号: _____

同意確認日： 年 月 日

同意確認者氏名：

聖路加国際大学 研究倫理審査委員会 承認番号：

整理番号：

聖路加国際病院

学長 福井 次矢 殿

同意撤回の申出書

同意撤回を希望する場合には、直筆でご署名の上、下記の連絡先まで郵送してください。

私は、日本語版HCAHPSの妥当性の評価に関する内容を理解した上で協力することに同意しましたが、同意を撤回します。

同意撤回日： 年 月 日

研究参加者氏名(ご署名): _____

診察券番号: _____

同意撤回確認日： 年 月 日

同意撤回確認者：

同意を撤回される場合は、下記までご提出して下さい。

お問い合わせ担当部署

住所: 〒104-0044 東京都中央区明石町9-1

電話: 03-6264-7295

聖路加国際大学公衆衛生大学院 高橋理

整理番号 :

アンケートの説明

以下の26問について、それぞれ、質問項目との関連性と質問の明確さ、理解しやすさに関する質問を致しますので、当てはまる回答の左側にあるチェックボックスに印を付けてください。

1. 入院中、看護師はあなたに敬意を払い、礼儀正しく接しましたか？ 1□ まったくない 2□ ときどき 3□ たいてい 4□ いつも	
1-1. 上記の質問項目は、「看護師とのコミュニケーション」とどれくらい関連していますか。	1□ 全く関連性がない 2□ 関連性がない 3□ 関連性がある 4□ 非常に高い関連性がある
1-2. 上記の質問項目は、どれくらい明確ですか。	1□ 全く明確ではない 2□ 明確ではない 3□ 明確 4□ 非常に明確
1-3. 上記の質問項目は、どれくらい理解できますか。	1□ 全く理解できない 2□ 理解できない 3□ 理解できる 4□ 簡単に理解できる

2. 入院中、看護師はあなたの話に注意深く耳を傾けましたか？ 1□ まったくない 2□ ときどき 3□ たいてい 4□ いつも	
2-1. 上記の質問項目は、「看護師とのコミュニケーション」とどれくらい関連していますか。	1□ 全く関連性がない 2□ 関連性がない 3□ 関連性がある 4□ 非常に高い関連性がある
2-2. 上記の質問項目は、どれくらい明確ですか。	1□ 全く明確ではない 2□ 明確ではない 3□ 明確 4□ 非常に明確
2-3. 上記の質問項目は、どれくらい理解できますか。	1□ 全く理解できない 2□ 理解できない 3□ 理解できる 4□ 簡単に理解できる

3. 入院中、看護師はあなたが理解できるように説明しましたか？ 1□ まったくない 2□ ときどき 3□ たいてい 4□ いつも	
3-1. 上記の質問項目は、「看護師とのコミュニケーション」とどれくらい関連していますか。	1□ 全く関連性がない 2□ 関連性がない 3□ 関連性がある 4□ 非常に高い関連性がある
3-2. 上記の質問項目は、どれくらい明確ですか。	1□ 全く明確ではない 2□ 明確ではない 3□ 明確 4□ 非常に明確
3-3. 上記の質問項目は、どれくらい理解できますか。	1□ 全く理解できない 2□ 理解できない 3□ 理解できる 4□ 簡単に理解できる

4. 入院中、ナースコールのボタンを押したとき、速やかに対応してもらえましたか？ 1□ まったくない 2□ ときどき 3□ たいてい 4□ いつも 9□ ナースコールのボタンを押したことはありません	
4-1. 上記の質問項目は、「看護師とのコミュニケーション」とどれくらい関連していますか。	1□ 全く関連性がない 2□ 関連性がない 3□ 関連性がある 4□ 非常に高い関連性がある
4-2. 上記の質問項目は、どれくらい明確ですか。	1□ 全く明確ではない 2□ 明確ではない 3□ 明確 4□ 非常に明確
4-3. 上記の質問項目は、どれくらい理解できますか。	1□ 全く理解できない 2□ 理解できない 3□ 理解できる 4□ 簡単に理解できる

次のページへ

5. 入院中、医師はあなたに敬意を払い、礼儀正しく接しましたか？ 1□ まったくない 2□ ときどき 3□ たいてい 4□ いつも	
5-1. 上記の質問項目は、「医師とのコミュニケーション」とどれくらい関連していますか。	1□ 全く関連性がない 2□ 関連性がない 3□ 関連性がある 4□ 非常に高い関連性がある
5-2. 上記の質問項目は、どれくらい明確ですか。	1□ 全く明確ではない 2□ 明確ではない 3□ 明確 4□ 非常に明確
5-3. 上記の質問項目は、どれくらい理解できますか。	1□ 全く理解できない 2□ 理解できない 3□ 理解できる 4□ 簡単に理解できる

6. 入院中、医師はあなたの話に注意深く耳を傾けましたか？ 1□ まったくない 2□ ときどき 3□ たいてい 4□ いつも	
6-1. 上記の質問項目は、「医師とのコミュニケーション」とどれくらい関連していますか。	1□ 全く関連性がない 2□ 関連性がない 3□ 関連性がある 4□ 非常に高い関連性がある
6-2. 上記の質問項目は、どれくらい明確ですか。	1□ 全く明確ではない 2□ 明確ではない 3□ 明確 4□ 非常に明確
6-3. 上記の質問項目は、どれくらい理解できますか。	1□ 全く理解できない 2□ 理解できない 3□ 理解できる 4□ 簡単に理解できる

次のページへ

7. 入院中、医師はあなたが理解できるように説明しましたか？ 1□ まったくない 2□ ときどき 3□ たいてい 4□ いつも	
7-1. 上記の質問項目は、「医師とのコミュニケーション」とどれくらい関連していますか。	1□ 全く関連性がない 2□ 関連性がない 3□ 関連性がある 4□ 非常に高い関連性がある
7-2. 上記の質問項目は、どれくらい明確ですか。	1□ 全く明確ではない 2□ 明確ではない 3□ 明確 4□ 非常に明確
7-3. 上記の質問項目は、どれくらい理解できますか。	1□ 全く理解できない 2□ 理解できない 3□ 理解できる 4□ 簡単に理解できる

8. 入院中、病室とトイレは清潔でしたか？ 1□ まったくない 2□ ときどき 3□ たいてい 4□ いつも	
8-1. 上記の質問項目は、「病院環境(清潔度と静寂さ)」とどれくらい関連していますか。	1□ 全く関連性がない 2□ 関連性がない 3□ 関連性がある 4□ 非常に高い関連性がある
8-2. 上記の質問項目は、どれくらい明確ですか。	1□ 全く明確ではない 2□ 明確ではない 3□ 明確 4□ 非常に明確
8-3. 上記の質問項目は、どれくらい理解できますか。	1□ 全く理解できない 2□ 理解できない 3□ 理解できる 4□ 簡単に理解できる

次のページへ

9. 入院中の夜間、病室の周辺は静かでしたか？ 1□ まったくない 2□ ときどき 3□ たいてい 4□ いつも	
9-1. 上記の質問項目は、「病院環境(清潔度と静寂さ)」とどれくらい関連していますか。	1□ 全く関連性がない 2□ 関連性がない 3□ 関連性がある 4□ 非常に高い関連性がある
9-2. 上記の質問項目は、どれくらい明確ですか。	1□ 全く明確ではない 2□ 明確ではない 3□ 明確 4□ 非常に明確
9-3. 上記の質問項目は、どれくらい理解できますか。	1□ 全く理解できない 2□ 理解できない 3□ 理解できる 4□ 簡単に理解できる

10. 入院中、トイレに行ったり、便器を使用するために、看護師や病院スタッフの介助が必要でしたか？ 1□ はい 2□ いいえ → いいえの場合、質問12へ	
10-1. 上記の質問項目は、「病院スタッフの対応」とどれくらい関連していますか。	1□ 全く関連性がない 2□ 関連性がない 3□ 関連性がある 4□ 非常に高い関連性がある
10-2. 上記の質問項目は、どれくらい明確ですか。	1□ 全く明確ではない 2□ 明確ではない 3□ 明確 4□ 非常に明確
10-3. 上記の質問項目は、どれくらい理解できますか。	1□ 全く理解できない 2□ 理解できない 3□ 理解できる 4□ 簡単に理解できる

次のページへ

11. トイレに行ったり、便器を使用するとき、速やかに介助してもらえましたか？ 1□ まったくない 2□ ときどき 3□ たいてい 4□ いつも	
11-1. 上記の質問項目は、「病院スタッフの対応」とどれくらい関連していますか。	1□ 全く関連性がない 2□ 関連性がない 3□ 関連性がある 4□ 非常に高い関連性がある
11-2. 上記の質問項目は、どれくらい明確ですか。	1□ 全く明確ではない 2□ 明確ではない 3□ 明確 4□ 非常に明確
11-3. 上記の質問項目は、どれくらい理解できますか。	1□ 全く理解できない 2□ 理解できない 3□ 理解できる 4□ 簡単に理解できる

12. 入院中、これまでに使ったことのない薬を使うことができましたか？ 1 はい 2 いいえ → 「いいえ」の場合は、15に進んでください	
12-1. 上記の質問項目は、「医薬品に関するコミュニケーション」とどれくらい関連していますか。	1□ 全く関連性がない 2□ 関連性がない 3□ 関連性がある 4□ 非常に高い関連性がある
12-2. 上記の質問項目は、どれくらい明確ですか。	1□ 全く明確ではない 2□ 明確ではない 3□ 明確 4□ 非常に明確
12-3. 上記の質問項目は、どれくらい理解できますか。	1□ 全く理解できない 2□ 理解できない 3□ 理解できる 4□ 簡単に理解できる

次のページへ

13. 新しい薬を使う前に、病院スタッフから何のための薬か説明がありましたか？ 1□ まったくない 2□ ときどき 3□ たいてい 4□ いつも	
13-1. 上記の質問項目は、「医薬品に関するコミュニケーション」とどれくらい関連していますか。	1□ 全く関連性がない 2□ 関連性がない 3□ 関連性がある 4□ 非常に高い関連性がある
13-2. 上記の質問項目は、どれくらい明確ですか。	1□ 全く明確ではない 2□ 明確ではない 3□ 明確 4□ 非常に明確
13-3. 上記の質問項目は、どれくらい理解できますか。	1□ 全く理解できない 2□ 理解できない 3□ 理解できる 4□ 簡単に理解できる

14. 新しい薬を使う前に、病院スタッフから薬の副作用について分かりやすい説明がありましたか？ 1□ まったくない 2□ ときどき 3□ たいてい 4□ いつも	
14-1. 上記の質問項目は、「医薬品に関するコミュニケーション」とどれくらい関連していますか。	1□ 全く関連性がない 2□ 関連性がない 3□ 関連性がある 4□ 非常に高い関連性がある
14-2. 上記の質問項目は、どれくらい明確ですか。	1□ 全く明確ではない 2□ 明確ではない 3□ 明確 4□ 非常に明確
14-3. 上記の質問項目は、どれくらい理解できますか。	1□ 全く理解できない 2□ 理解できない 3□ 理解できる 4□ 簡単に理解できる

次のページへ

<p>15. 退院後の療養先は、自宅、自宅以外の家、それ以外の施設のどちらでしたか？</p> <p>1□ 自宅 2□ 自宅以外の家</p> <p>3□ 上記以外の施設 → この場合、質問18へ</p>	
<p>15-1. 上記の質問項目は、「退院時の情報」とどれくらい関連していますか。</p>	<p>1□ 全く関連性がない</p> <p>2□ 関連性がない</p> <p>3□ 関連性がある</p> <p>4□ 非常に高い関連性がある</p>
<p>15-2. 上記の質問項目は、どれくらい明確ですか。</p>	<p>1□ 全く明確ではない</p> <p>2□ 明確ではない</p> <p>3□ 明確</p> <p>4□ 非常に明確</p>
<p>15-3. 上記の質問項目は、どれくらい理解できますか。</p>	<p>1□ 全く理解できない</p> <p>2□ 理解できない</p> <p>3□ 理解できる</p> <p>4□ 簡単に理解できる</p>

<p>16. 入院中、退院後に必要な援助について、医師、看護師、病院スタッフなどと、話し合う機会がありましたか？</p> <p>1□ はい 2□ いいえ</p>	
<p>16-1. 上記の質問項目は、「退院時の情報」とどれくらい関連していますか。</p>	<p>1□ 全く関連性がない</p> <p>2□ 関連性がない</p> <p>3□ 関連性がある</p> <p>4□ 非常に高い関連性がある</p>
<p>16-2. 上記の質問項目は、どれくらい明確ですか。</p>	<p>1□ 全く明確ではない</p> <p>2□ 明確ではない</p> <p>3□ 明確</p> <p>4□ 非常に明確</p>
<p>16-3. 上記の質問項目は、どれくらい理解できますか。</p>	<p>1□ 全く理解できない</p> <p>2□ 理解できない</p> <p>3□ 理解できる</p> <p>4□ 簡単に理解できる</p>

次のページへ

17. 入院中、退院後に注意すべき症状や健康問題に関する情報を書面で受け取りましたか？ 1□ はい 2□ いいえ	
17-1. 上記の質問項目は、「退院時の情報」とどれくらい関連していますか。	1□ 全く関連性がない 2□ 関連性がない 3□ 関連性がある 4□ 非常に高い関連性がある
17-2. 上記の質問項目は、どれくらい明確ですか。	1□ 全く明確ではない 2□ 明確ではない 3□ 明確 4□ 非常に明確
17-3. 上記の質問項目は、どれくらい理解できますか。	1□ 全く理解できない 2□ 理解できない 3□ 理解できる 4□ 簡単に理解できる

18. 0～10の数字で、0を最悪の病院、10を最良の病院とすると、あなたが入院していた病院はどれに当たりますか？ 0□ 考えられる範囲で最悪 1□ 2□ 3□ 4□ 5□ 6□ 7□ 8□ 9□ 10□ 考えられる範囲で最良	
18-1. 上記の質問項目は、「病院の総合評価」とどれくらい関連していますか。	1□ 全く関連性がない 2□ 関連性がない 3□ 関連性がある 4□ 非常に高い関連性がある
18-2. 上記の質問項目は、どれくらい明確ですか。	1□ 全く明確ではない 2□ 明確ではない 3□ 明確 4□ 非常に明確
18-3. 上記の質問項目は、どれくらい理解できますか。	1□ 全く理解できない 2□ 理解できない 3□ 理解できる 4□ 簡単に理解できる

次のページへ

19. この病院を、家族や友人に勧めますか？ 1□ 絶対に勧めない 2□ たぶん勧めない 3□ たぶん勧める 4□ 必ず勧める	
19-1. 上記の質問項目は、「病院を推薦する意思」とどれくらい関連していますか。	1□ 全く関連性がない 2□ 関連性がない 3□ 関連性がある 4□ 非常に高い関連性がある
19-2. 上記の質問項目は、どれくらい明確ですか。	1□ 全く明確ではない 2□ 明確ではない 3□ 明確 4□ 非常に明確
19-3. 上記の質問項目は、どれくらい理解できますか。	1□ 全く理解できない 2□ 理解できない 3□ 理解できる 4□ 簡単に理解できる

20. 入院中、病院スタッフは、退院後に必要な医療を判断するにあたって、本人、家族、介護者らの意向を汲んでくれました。 1□ まったくそうは思わない 2□ そう思わない 3□ そう思う 4□ まったくそのとおりだと思う	
20-1. 上記の質問項目は、「退院時の患者自身のケアの理解」とどれくらい関連していますか。	1□ 全く関連性がない 2□ 関連性がない 3□ 関連性がある 4□ 非常に高い関連性がある
20-2. 上記の質問項目は、どれくらい明確ですか。	1□ 全く明確ではない 2□ 明確ではない 3□ 明確 4□ 非常に明確
20-3. 上記の質問項目は、どれくらい理解できますか。	1□ 全く理解できない 2□ 理解できない 3□ 理解できる 4□ 簡単に理解できる

次のページへ

<p>21. 退院時には、自分で責任をもって行う必要がある健康管理についてよく理解していました。</p> <p>1□ まったくそうは思わない 2□ そう思わない 3□ そう思う 4□ まったくそのとおりだと思う</p>	
<p>21-1. 上記の質問項目は、「退院時の患者自身のケアの理解」とどれくらい関連していますか。</p>	<p>1□ 全く関連性がない 2□ 関連性がない 3□ 関連性がある 4□ 非常に高い関連性がある</p>
<p>21-2. 上記の質問項目は、どれくらい明確ですか。</p>	<p>1□ 全く明確ではない 2□ 明確ではない 3□ 明確 4□ 非常に明確</p>
<p>21-3. 上記の質問項目は、どれくらい理解できますか。</p>	<p>1□ 全く理解できない 2□ 理解できない 3□ 理解できる 4□ 簡単に理解できる</p>

<p>22. 退院時には、それぞれの薬の使用目的をきちんと理解していました。</p> <p>1□ まったくそうは思わない 2□ そう思わない 3□ そう思う 4□ まったくそのとおりだと思う 5□ 退院時に薬を出されなかった</p>	
<p>22-1. 上記の質問項目は、「退院時の患者自身のケアの理解」とどれくらい関連していますか。</p>	<p>1□ 全く関連性がない 2□ 関連性がない 3□ 関連性がある 4□ 非常に高い関連性がある</p>
<p>22-2. 上記の質問項目は、どれくらい明確ですか。</p>	<p>1□ 全く明確ではない 2□ 明確ではない 3□ 明確 4□ 非常に明確</p>
<p>22-3. 上記の質問項目は、どれくらい理解できますか。</p>	<p>1□ 全く理解できない 2□ 理解できない 3□ 理解できる 4□ 簡単に理解できる</p>

次のページへ

23. 今回の入院は、救急外来を經由しましたか。 1□ はい 2□ いいえ	
23-1. 上記の質問項目は、「患者さん自身について」とどれくらい関連していますか。	1□ 全く関連性がない 2□ 関連性がない 3□ 関連性がある 4□ 非常に高い関連性がある
23-2. 上記の質問項目は、どれくらい明確ですか。	1□ 全く明確ではない 2□ 明確ではない 3□ 明確 4□ 非常に明確
23-3. 上記の質問項目は、どれくらい理解できますか。	1□ 全く理解できない 2□ 理解できない 3□ 理解できる 4□ 簡単に理解できる

24. 普段の全般的な健康状態はいかがですか？ 1□ 極めて良好 2□ 非常に良好 3□ 良好 4□ まずまず 5□ 不良	
24-1. 上記の質問項目は、「患者さん自身について」とどれくらい関連していますか。	1□ 全く関連性がない 2□ 関連性がない 3□ 関連性がある 4□ 非常に高い関連性がある
24-2. 上記の質問項目は、どれくらい明確ですか。	1□ 全く明確ではない 2□ 明確ではない 3□ 明確 4□ 非常に明確
24-3. 上記の質問項目は、どれくらい理解できますか。	1□ 全く理解できない 2□ 理解できない 3□ 理解できる 4□ 簡単に理解できる

次のページへ

<p>25. 普段の精神的・情緒的な健康状態はいかがですか？</p> <p>1□ 極めて良好 2□ 非常に良好 3□ 良好 4□ まずまず 5□ 不良</p>	
<p>25-1. 上記の質問項目は、「患者さん自身について」とどれくらい関連していますか。</p>	<p>1□ 全く関連性がない 2□ 関連性がない 3□ 関連性がある 4□ 非常に高い関連性がある</p>
<p>25-2. 上記の質問項目は、どれくらい明確ですか。</p>	<p>1□ 全く明確ではない 2□ 明確ではない 3□ 明確 4□ 非常に明確</p>
<p>25-3. 上記の質問項目は、どれくらい理解できますか。</p>	<p>1□ 全く理解できない 2□ 理解できない 3□ 理解できる 4□ 簡単に理解できる</p>

<p>26. あなたが修了された最高学歴をお答えください。</p> <p>1□ 義務教育まで 2□ 高校卒業または高卒認定 3□ 短大 または2年制の学位 4□ 専門学校卒業 5□ 4年制大学卒業 6□ 4年制大学を超える学位</p>	
<p>26-1. 上記の質問項目は、「患者さん自身について」とどれくらい関連していますか。</p>	<p>1□ 全く関連性がない 2□ 関連性がない 3□ 関連性がある 4□ 非常に高い関連性がある</p>
<p>26-2. 上記の質問項目は、どれくらい明確ですか。</p>	<p>1□ 全く明確ではない 2□ 明確ではない 3□ 明確 4□ 非常に明確</p>
<p>26-3. 上記の質問項目は、どれくらい理解できますか。</p>	<p>1□ 全く理解できない 2□ 理解できない 3□ 理解できる 4□ 簡単に理解できる</p>

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

調査 NO. 3 2 2 7

入院経験に関するアンケート

● ご確認ください

このアンケートは、先日の事前調査でご案内させて頂いたとおり、入院経験があり、直近 6 週間以内に退院した方を対象に、入院中に経験したことについてご意見をいただく内容となっています。

質問は、選択肢（数字）に○をつける形式がほとんどですが、一部、数字や文字を記入する設問もあります。質問の指示に基づいて、回答漏れがないように回答をお願いいたします。（回答漏れがある場合は、謝礼のお支払いができません）。

それでは、どうぞよろしくお願いいたします。

● ご回答に先立ち、会員番号等の記入をお願いいたします。

会員番号	
電話番号	— —
FAX 番号	— —
登録代表者	
ご回答いただく方 ※調査対象条件に該当する方	

担当した看護師について

問1. 入院中、看護師はあなたに敬意を払い、礼儀正しく対応しましたか？

(○は1つ)

1. まったくしていなかった 2. ときどきしていた 3. たいていしていた 4. いつもしていた

問2. 入院中、看護師はあなたの話に注意深く耳を傾けましたか？

(○は1つ)

1. まったくしていなかった 2. ときどきしていた 3. たいていしていた 4. いつもしていた

問3. 入院中、看護師はあなたが理解できるように説明しましたか？

(○は1つ)

1. まったくしていなかった 2. ときどきしていた 3. たいていしていた 4. いつもしていた

問4. 入院中、あなたがナースコールのボタンを押したとき、速やかに対応してもらえましたか？

(○は1つ)

1. まったくしてもらえなかった
2. ときどきしてもらえた
3. たいていしてもらえた
4. いつもしてもらえた
5. ナースコールのボタンを押したことはない

担当した医師について

問5. 入院中、医師はあなたに敬意を払い、礼儀正しく対応しましたか？

(○は1つ)

1. まったくしていなかった 2. ときどきしていた 3. たいていしていた 4. いつもしていた

問6. 入院中、医師はあなたの話に注意深く耳を傾けましたか？

(○は1つ)

1. まったくしていなかった 2. ときどきしていた 3. たいていしていた 4. いつもしていた

問7. 入院中、医師はあなたが理解できるように説明しましたか？

(○は1つ)

1. まったくしていなかった 2. ときどきしていた 3. たいていしていた 4. いつもしていた

病院環境について

問8. 入院中、病室とトイレは清潔に保たれていましたか？

(○は1つ)

1. まったく保たれていなかった
2. ときどき保たれていた
3. たいてい保たれていた
4. いつも保たれていた

問9. 入院中の夜間、病室の周辺は静かでしたか？

(○は1つ)

1. まったく静かではなかった
2. ときどき静かだった
3. たいてい静かだった
4. いつも静かだった

病院での経験について

問10. 入院中、トイレに行ったり、ベッド上で使用する便器を使う際に、看護師や病院スタッフの介助を必要としましたか？

(○は1つ)

- 1 はい 2 いいえ → いいえの場合、質問 12 へ

問11. トイレに行ったり、ベッド上で使用する便器を使う際に、速やかに介助してもらえましたか？

(○は1つ)

1. まったくしてもらえなかった
2. ときどきしてもらえた
3. たいていしてもらえた
4. いつもしてもらえた

問12. 入院中、あなたがこれまでに使ったことがない薬を処方されましたか？

(○は1つ)

1 はい 2 いいえ → いいえの場合、質問 15 へ

問13. 新しい薬を使う前に、病院スタッフから何のための薬か説明がありましたか？

(○は1つ)

1. まったくなかった 2. ときどきあった 3. たいていあった 4. いつもあった

問14. 新しい薬を使う前に、病院スタッフから薬の副作用について分かりやすい説明がありましたか？

(○は1つ)

1. まったくなかった 2. ときどきあった 3. たいていあった 4. いつもあった

退院時について

問15. 退院後の療養先は、自宅、他の人の家、それ以外の施設のどちらでしたか？

(○は1つ)

1 自宅 2. 他の人の家 3. それ以外の施設 → この場合、質問 18 へ

**問16. 入院中、退院後に必要な援助について、医師、看護師、その他の病院スタッフなどと、話し合う機会
はありましたか？**

(○は1つ)

1 はい 2. いいえ

問17. 入院中、退院後に注意すべき症状や健康問題に関する情報を書面で受け取りましたか？

(○は1つ)

1 はい 2. いいえ

総合的な評価

問18. 0～10の数字で、考えられる範囲で、0を最悪の病院、10を最良の病院とすると、あなたが入院していた病院はどれに当たりますか？

(当てはまる数字に○を付けてください)

- 0 考えられる範囲で最悪
- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10 考えられる範囲で最良

問19. この病院を、家族や友人に勧めますか？

(○は1つ)

- 1. 絶対に勧めない
- 2. おそらく勧めない
- 3. おそらく勧める
- 4. 必ず勧める

退院後について

問20. 入院中、病院スタッフは、退院後に必要な医療を判断するにあたって、私と私の家族または介護者の意向を汲んでくれました。

(○は1つ)

- 1. まったくそうは思わない
- 2. そう思わない
- 3. そう思う
- 4. まったくそのとおりだと思う

問21. 退院時に、自分の健康管理をする上で必要なことについてよく理解していました。

(○は1つ)

- 1. まったくそうは思わない
- 2. そう思わない
- 3. そう思う
- 4. まったくそのとおりだと思う

問22. 退院時に、私は、全ての薬の使用目的をきちんと理解していました。

(○は1つ)

1. まったくそうは思わない
2. そう思わない
3. そう思う
4. まったくそのとおりだと思う
5. 退院時に薬を処方されなかった

あなた自身について

問23. 今回の入院は、救急外来を経由しましたか？

(○は1つ)

1. はい
2. いいえ

問24. 普段の全般的な健康状態はいかがですか？

(○は1つ)

1. 極めて良好
2. とても良好
3. 良好
4. おおむね良好
5. 不良

問25. 普段の精神的・情緒的な健康状態はいかがですか？

(○は1つ)

1. 極めて良好
2. とても良好
3. 良好
4. おおむね良好
5. 不良

問26. あなたが修了された最終学歴をお教えてください。

(○は1つ)

1. 義務教育まで
2. 高校卒業または高卒認定
3. 短大 または 2 年制の学位
4. 専門学校卒業
5. 4 年制大学卒業
6. 大学院修了

【患者アウトカム尺度であるEQ-5Dを用いたQOL値データの収集と分析】

A. 研究目的

わが国の平均寿命は男女とも6～7年連続で過去最高を更新し続け、2018年現在、男性81歳、女性87歳と世界的な長寿国である。日本が世界的な長寿国を達成している理由として、医療機関へのアクセスの良さや患者による医療費の負担が少ないことなどが報告されている。その一方で、自立して生活できる年齢を示す「健康寿命」は2016年時点で男性は72歳、女性は74歳と、平均寿命と大きな開きがあり、余命の最後10年間は必ずしも全ての人が生活の質(QOL値)を高く維持しているとは限らない。医療機関では、患者の疾患に応じて医学的に最適な治療が提供されるが、医療は時に、手術の合併症や後遺症などによって予想と反して患者のQOL改善に結びつかない事態も起こりうる。患者が治療を決断する時は、治療による身体機能およびQOL改善の見込みについて、医療者が十分に説明する必要があるが、特にQOL改善の見込みについては患者の理解を得ることは容易ではない。

Euro-QOL (EQ-5D)は、1987年にオランダの研究者グループによって開発された患者のQOLを測定する最も有名な尺度であり、5つの健康状態に関する項目(「移動の程度」「身の回りの管理」「ふだんの活動」「痛み/不快感」「不安/ふさぎ込み」と1つの主観的な満足度に関する項目「視覚評価法(Visual Analog Scale; VAS)」で構成されている。EQ-5Dによって患者の効用値を算出することができ、その値は0から1の範囲で、1が完全な健康状態、0が死亡を意味する。また、治療によってもたらされた患者の効用値への貢献度(治療の前後で得られた差分)をHealth Gain値と呼ぶ。英国では、患者アウトカム尺度(Patient Reported Outcome Measures: PROMs)として、National Health Service (NHS)傘下のすべての医療機関で、予定手術患者を対象に手術前、手術後、術後3～6か月時点において、EQ-5D測定を行い、公表が義務付けられている。わが国では、患者の効用値の測定が全国の医療機関で定期的に行われることはなく、患者の治療後の患者QOLの予測については、医療従事者による臨床経験に頼らざるを得ない状況である。

本研究では、聖路加国際病院にて入院を計画している患者を対象に、入院前、退院後の約1か月時点、

約6か月時点で日本語版EQ-5D-5Lを用いてQOLを測定し、効用値を算出することを目的とする。得られたデータは、対象患者を10歳きざみの年齢階級、診療科別に分けて分析する。なお、日本語版EQ-5D-5Lの利用に際しては、Euro-QOL (EQ-5D)本部と連絡を取り、レジストリーの手続きを完了したうえで行った。

研究により期待される成果としては、日本における予定入院患者による、年齢群別、および診療科別の入院前後の平均効用値が明らかになることである。

B. 研究方法

日本語版EQ-5D-5Lを用いた効用値を実際に医療機関において、入院前後で測定し比較し、課題を抽出する。

研究デザインは、横断研究。選択基準は、2020年1月～2021年3月までに聖路加国際病院において入院が計画された患者で、除外基準は、主治医が認知能力に問題があると判断した患者とした。年代別、および診療科別に入院前、退院後およそ1か月時点で日本語版EQ-5D-5Lを測定し、効用値の平均値を求めた。

本年度は測定できなかったが、次年度には退院後6か月時点のデータも収集し、効用値の推移を検討する予定である。

(倫理面への配慮)

本研究は匿名加工された調査票を用い、情報の収集、分析にあたっては匿名加工処理を行い分析した。

C. 研究結果

2020年1月より、聖路加国際病院において予定入院した患者を対象に、入院前、退院後の約1か月、約6か月での日本語版EQ-5D-5Lの取得を開始した。

その結果、2020年1月～3月の間に日本語版EQ-5D-5Lが発行された件数は799件であった。そのうち入院前と入院後約1か月時点でのデータが得られたのは145件であった。調査期間の関係から退院約6か月時点でのEQ-5D-5Lのデータを用いた比較はできなかった。

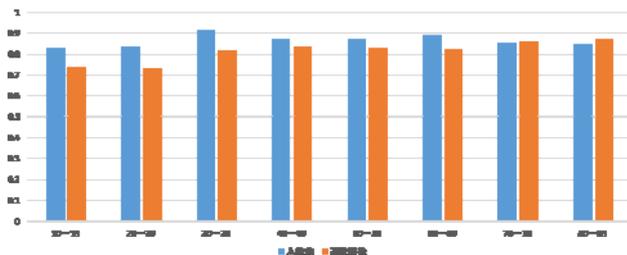
入院前後比較可能であった145件の内訳を表1に示す。

	男性	女性	全体
人数	57	88	145
10代	0	1	1
20代	9	3	12
30代	1	10	11
40代	2	20	22
50代	8	26	34
60代	13	8	21
70代	16	17	28
80代	8	8	16
平均年齢	60.5 ± 19.6	55.3 ± 15.9	57.4 ± 17.6
平均在院日数	4.9 ± 4.6	5.1 ± 2.9	5.0 ± 3.6
EQ5D5L効用値			
入院前	0.8675 ± 0.1459	0.8694 ± 0.1266	0.8687 ± 0.1345
退院後(1ヶ月以内)	0.8370 ± 0.1427	0.8265 ± 0.1399	0.8306 ± 0.1411

(表1.Patient characteristics)

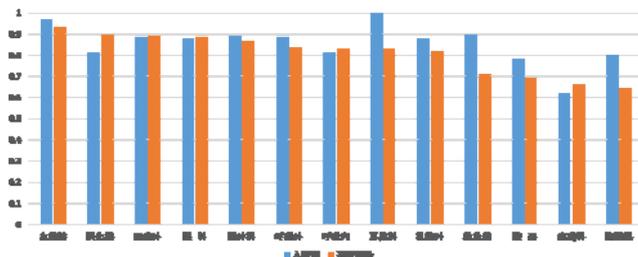
2020年1月～3月の間で入院前後の比較が可能であった件数は145件であった。平均在院日数は平均5.0日と短く、入院前後の効用値は退院後約1か月時点では入院前に比べて値が悪くなっていた。

年代別に比較しても概ね全年代で退院後約1か月時点での効用値は入院前と比較して低かった。



(図1.年代別入院前後効用値平均)

診療科別の比較では、皮膚科を除いたほぼすべての診療科で退院後約1か月時点での効用値は入院前に比べて低かった。



(図2.診療科別入院前後効用値平均)

D. 考察

EQ-5D-5Lを用いた効用値について、入院前と退院後約1か月時点と比較すると、退院後約1か月時点での効用値が低くなる傾向にあった。入院期間も短く、退院後約1か月時点での外来受診時には、効用値は入院前に比べて下がる傾向があり、この時点では、退院後の状態に復帰できていないことが伺える。

本年度は、調査期間の関係から退院後は約1か月時点での効用値しか解析対象とできなかったが、次年度は、退院後約6か月時点での効用値をも算定し比較する予定である。退院後約1か月時点での効用値がどのように変化するのか、興味深い。

E. 結論

2020年1月より、聖路加国際病院外科系診療科に予定入院した患者を対象に、入院前、退院後の約1か月、約6か月での日本語版EQ-5D-5Lの取得を開始した。

2020年1月～3月の間に日本語版EQ-5D-5Lが発行された件数は799件であり、そのうち入院前と入院後約1か月時点でのデータが得られたのは145件であった。その145件について、入院前後の効用値を比較すると、退院後約1か月時点での効用値は入院前に比べて低くなる傾向が認められた。

次年度は、退院後約6か月時点での効用値を測定し、退院後約1か月時点での傾向が継続するかを検討する予定である。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表 該当なし
2. 学会発表 該当なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得 該当なし
2. 実用新案登録 該当なし
3. その他 該当なし

【「共通QIセット」業務を担当する人材に関するアンケート調査】

A. 研究目的

平成28年度（2016年度）厚生労働行政推進調査事業費補助金による研究班によって「共通QIセット」が提唱され、平成29年度（2017年度）、平成30年度（2018年度）の「医療の質の評価・公表等推進事業」では、その事業に参加した病院団体に、「共通QIセット」23種類36項目のうち、必須23項目の測定及び任意13項目のうち5項目以上の測定を求めた。平成29年度（2017年度）は日本病院会、全日本病院協会の2団体、平成30年度（2018年度）は全日本民主医療機関連合会、日本赤十字社の2団体、計4団体が測定を終えた。

本研究班では、今後、全国の病院におけるさらなるQI測定推進に資する方略を提言することを目的として、QIのデータ収集や分析のプロセス・工夫、必要な人材とスキル・実労働時間等のさまざまな課題について、「共通QIセット」の測定を行っている病院を対象に行うアンケート調査に用いる調査票を作成する。

B. 研究方法

QIのデータ収集や分析のプロセスと工夫、必要な人材とスキル、実労働時間等、さまざまな課題を知る目的で行うアンケート調査の調査票を作成するための事前調査を実施した。

平成29年度（2017年度）の厚生労働省「医療の質の評価・公表等推進事業」に参加した日本病院会の参加病院においてQI業務の担当者を対象に、「共通QIセット」の継続性と問題点を調査した。

（倫理面への配慮）

医療機関等を対象としたアンケート調査であり、個人が特定されない形のデータのみ収集した。人への侵襲を伴わず、倫理的問題は発生しない。

C. 研究結果

【共通QIセットの継続性と問題点】

「共通QIセット」のうち、定義変更なく測定できているものは17項目、対象病床を限定して測定しているものは5項目、定義を変更して測定しているものは5項目、測定していないものは9項目であった（表1）。

測定していないものにおいては、「指標の意義が不明確である」「コードマスタがアップデートされない」「測定できる施設が少ない」という理由が主

であった。

【QIの業務を担当する人材に関する事前調査】

352施設中297施設から回答があった（回答率84.4%）。

組織体制に関する設問、「医療情報を専従（常勤に限る）で扱うスタッフはいますか？」では、32.3%（96施設）が「いる」と回答し、スタッフ数は1～5人が最も多く、67施設であった。そのうち、指標の算出を行っているスタッフ数は1人（44施設）、2人（19施設）、3人（13施設）で、最も多い施設では8人（1施設）であった（図1、図2、図3）。

平成22年度より厚生労働省「医療の質の評価・公表等推進事業」は全部で9団体が実施してきたが、「日本病院会以外で、他団体が実施している測定・公表プログラムに参加されていますか？」の設問に、他1団体に参加していると回答したのは91施設、他2団体に参加していると回答したのは1施設であった。また、これら以外の団体のプログラムに参加しているとの回答は37施設であった（図4）。

今回、アンケート調査の調査票の作成まではできなかったが、事前調査を行ったことで、QIデータの収集や分析を行うために必要な人材と課題を知る必要があることが示された。次年度は、アンケート調査の調査票の作成と調査を実施する予定である。

D. 考察

【共通QIセットの継続性と問題点】

平成29年度、平成30年度の研究班調査により、全施設で測定すべき指標は、患者満足度調査および医療安全（インシデントレポート、転倒転落、褥瘡発生を含む）の領域であることが示されていて、日本病院会では厚生労働省事業終了後も継続してそれらを測定している。

DPC指標は、中央集計であり算出が容易であることが示されてはいるが、定義のメンテナンス、マスタ整備を行う必要があることが課題であることが浮き彫りになった。

【QIの業務を担当する人材に関する事前調査】

QIのデータ収集や分析においては、医療情報を扱うスタッフが必要であるが、日本病院会での調査では32.3%の施設でしか医療情報の専任スタッフが配置されていなかった。医療情報を扱うスタッフのうちさらにQI指標の算出を専任で行っているスタッフになると、さらに少なかった。全国の病院でのQI測定を推進するには、QIのデータ収集や分析を行う人材の配置が必要となろう。

また、複数の団体に属し、QIのデータを算出・提出を継続することも労働負荷となる。全国の病院で

測定するQIを共通化することで、複数の病院団体における異なるQIを算出する手間を省くことができれば、病院職員の労働負荷の軽減につながる可能性がある。

E. 結論

本年度は、平成29年度（2017年度）に厚生労働省「医療の質の評価・公表等推進事業」参加した日本病院会における、「共通QIセット」に関するデータの解析と、QIの業務を担当する人材に関して事前調査を実施した。

その結果、「共通QIセット」の中には、継続するには見直しが必要なものが存在すること、全国の病院でQIを測定するためには、医療情報を扱うスタッフの配置が必要であることが示唆された。

全国的に「共通QIセット」を用いることは、複数の病院団体に属してQIを算出している病運の労働負荷を軽減する可能性がある。

次年度は、QIのデータ収集や分析のプロセスと工夫、必要な人材とスキル、実労働時間等、さまざまな課題を知るためのアンケート調査票を作成し調査を実施する予定である。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表 該当なし
2. 学会発表 該当なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

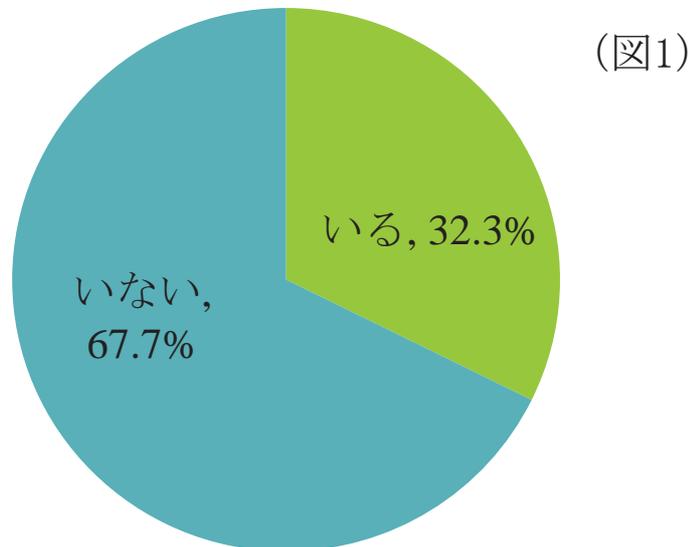
1. 特許取得
該当なし
2. 実用新案登録
該当なし
3. その他
該当なし

(表1) 共通QIセット

	算出元	参加形式	分類	指標名	測定可否	備考
1	各施設	必須	入院患者満足度	患者満足度 「a.全体としてこの病院に満足していますか？」	●	
		任意		患者満足度 「b.入院の原因となった病気や症状に対する診断や治療方針について、医師から受けた説明は十分でしたか？」	△	対象病床を限定して測定
		任意		患者満足度 「c.入院の原因となった病気や症状に対する診断や治療方針について、医師の説明を受けた際の疑問や意見は、医師に伝えられましたか？」	△	対象病床を限定して測定
2	各施設	必須	外来患者満足度	患者満足度 「a.全体としてこの病院に満足していますか？」	●	
		任意		患者満足度 「b.診断や治療方針について、今日までに医師から受けた説明は十分でしたか？」	△	対象病床を限定して測定
		任意		患者満足度 「c.診断や治療方針について、医師の説明を受けた際の疑問や意見は、医師に伝えられましたか？」	△	対象病床を限定して測定
3	各施設	任意	職員満足度	職員満足度 「a.自分の病院が治療を受けるのに最適だと回答した割合」	×	
4	各施設	必須	医療安全	転倒・転落 a.入院患者での転倒転落発生率	●	
		必須		転倒・転落 b.入院患者での転倒転落によるインシデント影響度分類レベル3b以上の発生率	●	
5	各施設	必須	医療安全	インシデント・アクシデント a.1か月間・100床当たりのインシデント・アクシデント発生件数	●	
		必須		インシデント・アクシデント b.全報告中医師による報告の占める割合	●	
6	各施設	必須	医療安全	褥瘡発生率	●	
7	様式1・EF ファイル	必須	医療安全	中心静脈カテーテル挿入時の気胸発生率	×	指標の意義が不明確である
8	各施設	任意	がん	がん a.新規に悪性腫瘍と診断された患者のうち、複数の診療科による治療方針の検討がなされた割合	×	測定できる施設が少ない
9	各施設	任意	がん	麻薬処方患者における痛みの程度の記載率	△	対象病床を限定して測定
10	様式1・EF ファイル	必須	急性心筋梗塞	急性心筋梗塞患者におけるアスピリン a.急性心筋梗塞患者における入院後早期アスピリン投与率	●※	定義を変更して測定
		必須		急性心筋梗塞患者におけるアスピリン b.急性心筋梗塞患者における退院時アスピリン投与率	●※	定義を変更して測定
11	様式1・EF ファイル	必須	急性心筋梗塞	Door-to-Balloon a.急性心筋梗塞で病院に到着してからPCIまでの時間が90分以内の患者の割合	●	
12	様式1・EF ファイル	必須	脳卒中	早期リハビリテーション a.脳梗塞患者への早期リハビリ開始率	●	
13	様式1・EF ファイル	任意	肺炎	誤嚥性肺炎患者に対する喉頭ファイバースコープあるいは嚥下造影検査の実施率	×	指標の意義が不明確である
14	各施設	任意	糖尿病	血糖コントロール a.糖尿病患者での血糖コントロール HbA1c<8.0%	●※	定義を変更して測定
15	各施設	任意	抗菌薬	予防的抗菌薬 a.手術開始前1時間以内の予防的抗菌薬投与率	●	
	様式1・EF ファイル	必須		予防的抗菌薬 b.術後24時間以内の予防的抗菌薬投与停止率	●※	定義を変更して測定
	様式1・EF ファイル	必須		予防的抗菌薬 c.術後48時間以内の予防的抗菌薬投与停止率	●※	定義を変更して測定
16	様式1・EF ファイル	任意	チーム医療	服薬指導 a.薬剤管理指導実施率	×	コードマスタがアップデートされない
	様式1・EF ファイル	必須		服薬指導 b.安全管理が必要な医薬品に対する服薬指導実施率	×	コードマスタがアップデートされない
17	様式1・EF ファイル	任意	チーム医療	栄養指導 a.糖尿病・慢性腎臓病患者への栄養管理実施率	●	
18	様式1・EF ファイル	必須	病院全体	手術ありの患者の肺血栓塞栓症 a.手術ありの患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率	×	コードマスタがアップデートされない
		必須		手術ありの患者の肺血栓塞栓症 b.手術ありの患者の肺血栓塞栓症の発生率	×	コードマスタがアップデートされない
19	様式1	必須	病院全体	再入院（30日） a.30日以内の予定外再入院率	●	
20	各施設	必須	病院全体	病院職員の予防接種 a.職員におけるインフルエンザワクチン接種率	●	
21	各施設	任意	病院全体	高齢者での事前指示 a.80歳以上の入院患者中、事前指示の記録がある患者の割合	×	測定できる施設が少ない
22	様式1・F ファイル・EF ファイル	必須	感染管理	血液培養の実施 a.広域抗菌薬使用時の血液培養実施率	●	
	F ファイル・EF ファイル	必須		血液培養の実施 b.血液培養実施時の2セット実施率	●	
23	様式1・EF ファイル	必須	地域連携	地域連携パス a.脳卒中患者に対する地域連携パスの使用率	●	
		必須		地域連携パス b.大腿骨頸部骨折患者に対する地域連携パスの使用率	●	

組織体制

医療情報を専従（常勤に限る）で扱うスタッフはいますか？

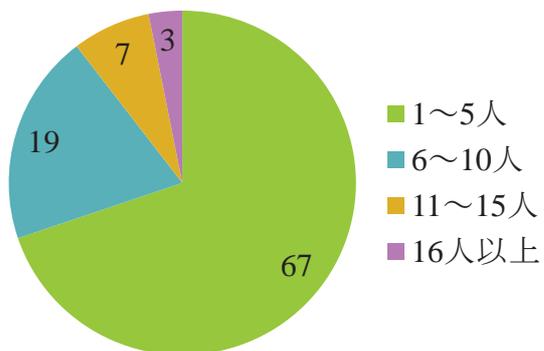


N=297

組織体制

医療情報を専従で扱うスタッフ数をお答えください。

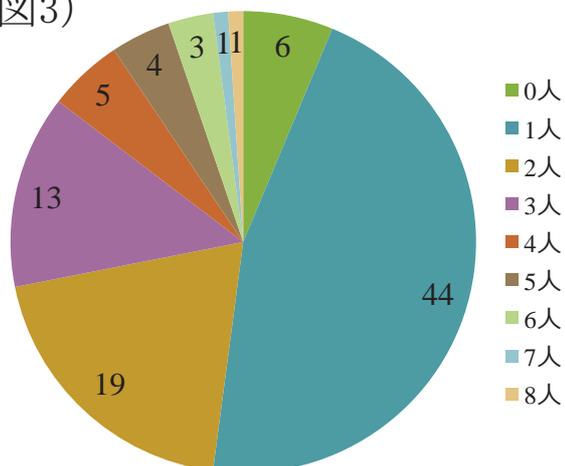
(図2)



N=96

医療情報を専従で扱うスタッフのうち、指標の算出を行っているスタッフ数をお答えください。

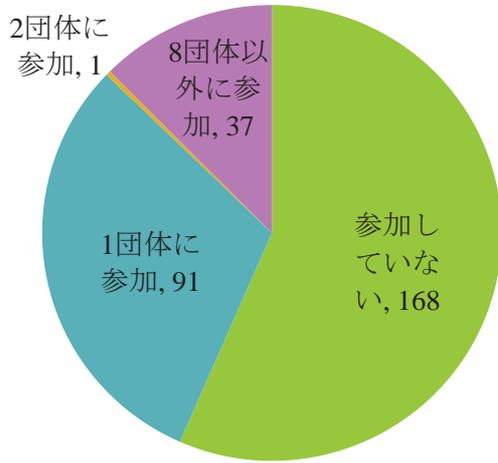
(図3)



組織体制

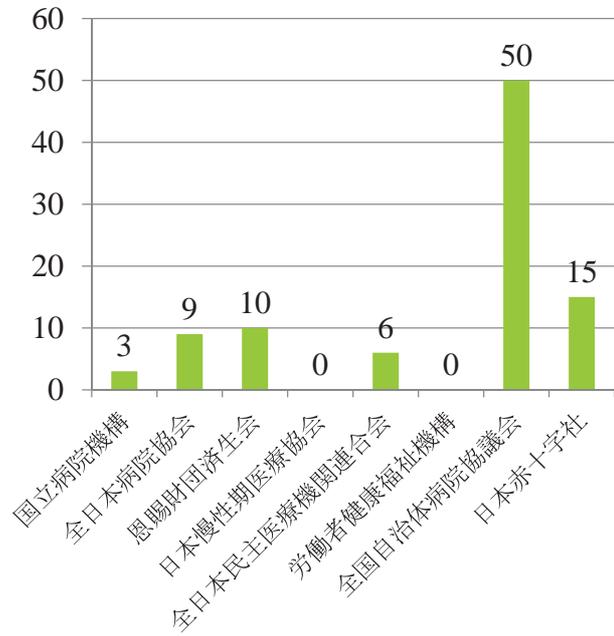
(図4)

日本病院会以外の、他団体が実施している測定・公表プログラムに参加されていますか？



N=297

参加している団体（複数回答可）



別添4

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ
該当なし							

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
該当なし					

令和 2 年 3 月 31 日

厚生労働大臣 殿

機関名 聖路加国際大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 福井 次矢

次の職員の令和元年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等については以下のとおりです。

1. 研究事業名 地域医療基盤開発推進研究事業

2. 研究課題名 医療の質評価の全国展開を目指した調査研究

3. 研究者名 (所属部局・職名) 聖路加国際病院・院長

(氏名・フリガナ) 福井 次矢・フクイ ツグヤ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	聖路加国際大学	<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

機関名 京都府立医科大学
 所属研究機関長 職名 学長
 氏名 竹中 洋

次の職員の平成元年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反
 では以下のとおりです。

1. 研究事業名 地域医療基盤開発推進研究事業
2. 研究課題名 医療の質評価の全国展開を目指した調査研究（19IA2013）
3. 研究者名（所属部局・職名） 医学研究科 ・ 特任准教授
 （氏名・フリガナ） 猪飼 宏 ・ イカイ ヒロシ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（※3）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること （指針の名称： ）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。

（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> （無の場合はその理由： ）
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> （無の場合は委託先機関： ）
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> （無の場合はその理由： ）
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> （有の場合はその内容： ）

（留意事項） ・ 該当する□にチェックを入れること。
 ・ 分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

機関名 京都大学

所属研究機関長 職名 医学研究科長

氏名 岩井 一宏

次の職員の令和元年度厚生労働行政推進調査事業費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 地域医療基盤開発推進研究事業
2. 研究課題名 医療の質評価の全国展開を目指した調査研究
3. 研究者名 (所属部局・職名) 医学研究科 教授
(氏名・フリガナ) 今中 雄一 (イマナカ ユウイチ)

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	京都大学	<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和2年3月11日

厚生労働大臣 殿

機関名 公立大学法人奈良

所属研究機関長 職名 理事長

氏名 細井 裕司

次の職員の令和元年度厚生労働行政推進調査事業費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 地域医療基盤開発推進研究事業
- 研究課題名 医療の質評価の全国展開を目指した調査研究
- 研究者名 (所属部局・職名) 医学部・教授
(氏名・フリガナ) 今村 知明・イマムラ トモアキ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する口にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和 2 年 3 月 31 日

厚生労働大臣 殿

機関名 聖路加国際大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 福井 次矢

次の職員の令和元年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の
ては以下のとおりです。

1. 研究事業名 地域医療基盤開発推進研究事業

2. 研究課題名 医療の質評価の全国展開を目指した調査研究

3. 研究者名 (所属部局・職名) 情報システムセンター・センター長

(氏名・フリガナ) 嶋田 元・シマダ ゲン

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	聖路加国際大学	<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

機関名 聖路加国際大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 福井 次矢

次の職員の令和元年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等
 では以下のとおりです。

1. 研究事業名 地域医療基盤開発推進研究事業

2. 研究課題名 医療の質評価の全国展開を目指した調査研究

3. 研究者名 (所属部局・職名) 公衆衛生大学院・教授

(氏名・フリガナ) 高橋 理・タカハシ オサム

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	聖路加国際大学	<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
 ・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

機関名 国立大学法人東京医科歯科大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 吉澤靖

次の職員の令和元年度厚生労働行政推進調査事業費の調査研究における、倫理審査状況及び管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 地域医療基盤開発推進研究事業
2. 研究課題名 医療の質評価の全国展開を目指した調査研究
3. 研究者名 (所属部局・職名) 大学院医歯学総合研究科・教授
(氏名・フリガナ) 伏見 清秀 (フシミ キヨヒデ)

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和2年3月17日

厚生労働大臣 殿

機関名 産業医科大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 東 敏

次の職員の令和元年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 地域医療基盤開発推進研究事業

2. 研究課題名 医療の質評価の全国展開を目指した調査研究

3. 研究者名 (所属部局・職名) 医学部公衆衛生学・教授

(氏名・フリガナ) 松田 晋哉・マツダ シンヤ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和 2 年 3 月 31 日

厚生労働大臣 殿

機関名 聖路加国際大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 福井 次矢

次の職員の令和元年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 地域医療基盤開発推進研究事業

2. 研究課題名 医療の質評価の全国展開を目指した調査研究

3. 研究者名 (所属部局・職名) 公衆衛生大学院・准教授

(氏名・フリガナ) 大出 幸子・オオデ サチコ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	聖路加国際大学	<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。